

【ディプロマポリシー】

工学部

所定の期間在学し、本学の教育理念、各学科が定める教育目標に沿って編成された授業科目を履修して、所定の単位を修得し、かつそれらを通して次のような能力を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

1. コミュニケーション力を持ち、チームで協力し或いはリーダーシップを発揮して社会的責任を担う社会的能力を修得している。
2. 社会情勢の変動などにより困難な課題に直面しても、的確な判断ができるための幅広い教養と知識を修得している。
3. 環境、エネルギー、コンピューターなどの工学に関する分野において、求められる教養と倫理観を修得している。
4. 各専門分野における専門家としての基礎及び応用的能力を修得している。
5. 専門分野に関する知識と教養をもとに、国内外で活躍できる問題発見・解決能力を修得している。

機械工学科

以下の①～⑤を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与する。

- ① 汎用的能力と基礎学力
政治や経済、社会の構造的な変化が激しさを増し、将来の予測が困難な時代が到来しつつある。このような状況下で活路を見出すには、想定外の困難に際して的確な判断をするための教養や知識、経験が必要になる。そのため、工学と経営学の融合科目や共通教育科目を習得して汎用的な能力を身につけると共に、工学士としての基礎学力と機械工学に関する基本的な能力を身につける。
- ② プレゼンテーション力
自身、またはグループの皆と一緒に調査、実験、研究した結果や考察、成果をまとめて、他人に発信し、正しく理解してもらおう表現力を身につける。口頭発表や技術文章の作成力も身につける。
- ③ コミュニケーション力とコラボレーション力
グループ単位である目標に向かい共同作業を行う場合に必要他人と意思が疎通できる能力や協調性を身につける。また、昨今のグローバル化に対応するため、日本語のみではなく英語による意思疎通、協調性も身につける。
- ④ 創造力と構想力
基礎学力をしっかりと身につけ、さらに専門知識を習得して既存の技術を十分に理解したうえで、新たな技術革新の基となる創造力や構想力を身につける。

⑤ 4つの分野の知識と実践力、応用力

「材料」、「設計・加工」、「制御・ロボット」、「流れ・エネルギー」の4つの分野のうち一つを学んで専門知識を身に付ける。または機械の設計・製図や機械工作の実践的な能力を身に付ける。

電気電子工学科

共通教育科目、電気電子工学分野の基礎科目及び「エネルギー、環境」、「電気機器、電力技術」、「電子材料、エレクトロニクス」の3つの研究領域に密接に関連した専門科目、さらに、本学の教育の主要な特徴である「工学と経営学の融合教育科目」を学習し、実験、実習、研究を通して、以下の1～5を身に付けた学生に対し卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与する。

1. 汎用的能力

政治や経済、社会の構造的な変化が激しさを増し、将来の予測が困難な時代が到来しつつある。このような状況下で活路を見出すには、想定外の困難に際して的確な判断をするための教養や知識、経験が必要になる。そのため、工学のみではなく、工学と経営学の融合科目や共通教育科目を習得し、汎用的な能力を身に付けている。また、専門科目も上述の3つの分野から履修することができ、それぞれ習得することにより専門分野内における汎用的な能力を身に付けている。

2. プレゼンテーション力

自身、またはグループの皆と一緒に調査、実験、研究した結果や考察、成果をまとめて、他人に発信し、正しく理解してもらう表現力を身に付けている。口頭表現のみでなく、ポスターなどに的確にまとめる能力を養い、文章の表現力も修得している。

3. コミュニケーション力とコラボレーション力

グループ単位である目標に向かい共同作業を行う場合に必要な他人と意思が疎通できる能力や協調性を身に付けている。また、昨今のグローバル化に対応するため、日本語のみではなく英語による意思疎通、協調性も身に付けている。

4. 創造力と構想力

基礎学力をしっかりと身に付け、さらに専門知識を習得して既存の技術を十分に理解したうえで、新たな技術革新の基となる創造力や構想力を身に付けている。

5. 3つの分野の知識と実践力、応用力

「エネルギー、環境」、「電気機器、電力技術」、「電子材料、エレクトロニクス」の3つの分野を学び専門知識を修得する。卒業後、それらの知識を基に、急務となっているエネルギー問題や環境問題を解決するための技術開発に携わることができる実践力、応用力を身に付けている。

コンピュータメディア工学科

学科では「コンピュータやデジタルメディアを介してすべての人と人が温かくつながる社会を目指して環境マインドのある創造性豊かな人材を育てる」を基本理念に掲げ、次のような能力を身につけた学生に学士(工学)の学位を授与する。

① グローバル化に対応可能な基礎学力

急速に変化しグローバル化する社会動向に対応できる基礎学力を十分備えている。

② 課題解決能力

喫緊の課題である環境・エネルギー問題、情報化社会への対応など、社会が必要としている問題の解決に資する能力を習得している。

③ リーダシップ、プレゼンテーション能力

融合教育、少人数による実験・実習などを通じて、グループ単位でおこなう課題作業に対して、全体を取りまとめて周囲の意見を尊重しつつ自らの意見も取り入れた結論を得るリーダーシップと第三者に説得させるプレゼンテーション能力を習得している。

④ 実社会で役立つ専門技術力

コンピュータ技術をベースに、画像・音響・情報分野、通信ネットワーク分野、計測・制御・知能分野とそれらの要素技術と社会ニーズを基にデジタルメディア製品やサービスを開発するデジタルメディア創成に関する能力を習得している。